目　次

第１講　青年期　（2012年度１）……………… p 2
（2007年度１）……………… p 6
現代の諸課題　（2009年度５）……………… p 10
第２講　源流思想　（2014年度追試２）……………… p 22
日本思想　（2014年度追試３）……………… p 30
第３講　西洋近現代思想　（2013年度追試４）……………… p 46
（2009年度４）……………… p 54
第４講　倫理総まくり①……………… p 68
第５講　倫理総まくり②……………… p 74
第６講　倫理確認テスト……………… p 78

第１講　青年期（2012年度１）

（解答番号 1 〜 3 ）

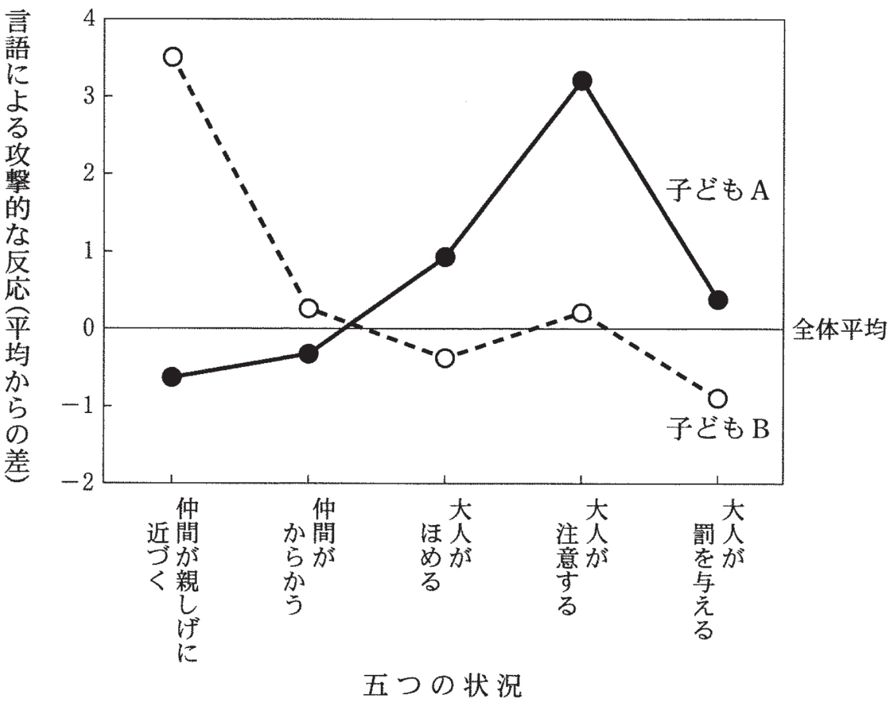
第１問　次の文章を読み，下の問い（問１〜３）に答えよ。（配点　8）

あなたはどのような性格だろうか。そう聞かれても，簡単には答えられないかもしれない。これまでの自分について考えてみても，学校では明るく陽気だが，家では口数が少ないなど，ⓐ様々な状況を通じて一貫した考え方や行動を挙げることは容易ではないからだ。
自分の性格をどう捉（とら）えるかは，自分をどう認識するかということでもあり，自我同一性の確立と深く関連する。青年期は，多様な自己像が現れる時期であり，しばしばⓑ内面の混乱を伴う。状況によって行動が変わることは，そうした自己の揺らぎを一層意識させるため，戸惑いや抵抗を強く感じさせるかもしれない。

しかし，自我同一性の確立とは，どのような相手にも同じ行動をとれるようになることではない。むしろ，その場の状況や相手に合わせて柔軟に対応することは，環境にうまく適応した状態とも言える。状況に応じた行動の違いを受け入れ，多様な自己像を統合し，それを自分のⓒ性格として把握することは，自我同一性を確立するために必要な過程である。

問１　下線部ⓐに関連して，次ページの**図**は，児童福祉を目的とする非営利組織が小中学生を対象に行ったサマーキャンプにおいて，参加者一人ひとりの行動を観察した研究結果の一部である。この研究の目的は下線部ⓐでいう一貫性の有無を検討することであった。**図**は，キャンプ中に高い攻撃性が見られた二人の子どもについて，「仲間が親しげに近づく」などの五つの状況で，言語による攻撃的な反応（からかい，挑発，脅し）がどのくらいの頻度で観察されたかを表している。**図**の縦軸の数値は，キャンプの参加者全体の平均を０とし，そこからの差として攻撃的な反応の多さを示している。この図から読み取れることとして最も適当なものを，次ページの①〜④のうちから一つ選べ。 1

図　各状況における子どもの攻撃的な反応



(注)　この研究では，小中学生 84 人の行動を 6 週間にわたって観察した。子ども一人に対する平均観察時間は 167 時間であった。

Shoda, Y., Mischel, W., & Wright, J.C., ‘Intraindividual stability in the organization and patterning of behavior’, *Journal of Personality and Social Psychology*, 1994 により作成。

① キャンプの参加者全体と比較したとき，子どもＡが攻撃的に反応するかどうかは状況に依存するのに対し，子どもＢの攻撃的反応はいずれの状況においても全体平均を下回っている。

② 二人の子どもはともに，相手との年齢が近いときより離れているときに攻撃的に振舞うが，年齢の近い相手への攻撃的反応の頻度は，子どもＡより子どもＢの方が高い。

③ 相手からほめられる状況と，注意や罰を受ける状況とで比較すると，子どもＡは前者よりも後者の二つの状況でいずれも攻撃的になるが，子どもＢにその傾向は見られない。

④ 高い攻撃性が見られた二人の子どもだが，取り上げられている五つの状況のなかで，全体平均からプラス１以上の攻撃的反応を示す状況は，子どもＡでも子どもＢでも限られている。

問２　下線部ⓑに関して，自我同一性の拡散を表す語句として**適当でないもの**を，次の①～⑤のうちから一つ選べ。［２］

① 通過儀礼(イニシエーション)
② 自意識の過剰
③ 否定的アイデンティティ
④ モラトリアム人間
⑤ ピーターパン・シンドローム

問３　下線部ⓒに関して，様々な研究者がこれまで唱えてきた性格の分類や特徴についての記述として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。［３］

① リースマンは，他人の行動に照準を合わせて自己の行動を決定する性格を他人指向(志向)型と呼んだが，現代の大衆社会では，こうしたタイプはほとんど見られなくなったと主張した。
② クレッチマーは，性格と体型の関連を指摘し，リビドーが自己の内側に向きやすい分裂気質は肥満型に多く，リビドーが外界に向きやすい循環気質は細長型に多いと主張した。
③ シュプランガーは，人々の生活を方向づける様々な価値観を整理して，理論型，経済型，審美型，社会型，権力(政治)型，宗教型という六つの性格類型を主張した。
④ オルポートは，自己感覚の拡大，温かい人間関係の構築，情緒の安定，自己の客観視，人生哲学の獲得から構成される性格５因子(ビッグファイブ)理論を主張した。

〈***Note***〉

第１講　青年期（2007 年度１）

（解答番号 １ ～ ３ ）

第１問　次の文章を読み，下の問い（**問１～３**）に答えよ。（配点　8）

倫理は，人間としての生き方に深く関(かか)わっており，ⓐ人間のこころを科学的に扱う心理学と無縁ではない。古くからこころは哲学的な考察の対象とされていたが，実証に基づく科学としての心理学は，19 世紀に登場した。当時の心理学者たちは，こころを内観することによって意識を捉(とら)えようとした。意識をめぐって科学としての心理学が確立したのである。

これに対して，フロイトは，本人の意識していない欲求・葛藤(かっとう)・願望が，人のこころや行動に影響を与えていると考え，心理学にⓑ無意識の概念を導入した。その考え方は，ユングらの様々な理論に影響を与えた。

しかし，すべてを無意識のせいにするのは科学的ではないとして，観察可能な行動のみを取り扱おうとする行動主義の動きが起こった。

こうした流れをふまえて，現在の心理学では，行動を記録するなど方法論上の細かい工夫を通して，意識を捉え直すことが活発に行われている。ⓒ悩みの解決を援助するカウンセリングは，様々な心理学の応用の一例であり，倫理に求められている課題を具体的に実践しているものと言える。

問１　下線部ⓐに関連して，現在の心理学の目標を次の**ア**～**オ**の五つに分ける考え方がある。このうち**ア**，**イ**，**オ**と，生活上の経験に関する事項Ａ～Ｅとの組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。
［1］

ア　人間に生じたことの記述
イ　人間に生じたことの説明
ウ　人間に生じることの予測
エ　人間に生じることの制御
オ　人間に生じることを変えることによる生活の質の改善

Ａ　交通違反をした者に対して点数減点制度を導入し，規定点数以下になったら免許停止とする。
Ｂ　各曜日１時間ごとに周辺の交通量調査を行い，これから行う工事の期間中の渋滞状況を考える。
Ｃ　公園内のどの遊具で子どもたちが遊んでいるかを調べるために，それぞれの遊具について一定時間内での利用回数を測定する。
Ｄ　様々な原因で欲求不満になったとき，スポーツなどで発散することを昇華と名づけて理解する。
Ｅ　電車の乗降で混雑する駅で乗客の流れがスムーズになるように，混雑時に専用通路を設ける。

① **ア**－Ｃ　**イ**－Ｄ　**オ**－Ｅ
② **ア**－Ｄ　**イ**－Ｂ　**オ**－Ａ
③ **ア**－Ｅ　**イ**－Ｂ　**オ**－Ｃ
④ **ア**－Ｄ　**イ**－Ａ　**オ**－Ｂ

問２　下線部ⓑに関して，フロイトが考えた無意識が現れる例として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

① 複雑な感情を抱いている相手の名前を，言い間違えてしまう。
② もう一度行きたいと思っている場所に，忘れ物をしてしまう。
③ 朝日が昇るのを見ると，誰(だれ)もが荘厳な感じを抱いてしまう。
④ 気掛かりなことがあると，何かに追いかけられる夢を見てしまう。

問３　下線部ⓒに関して，相容(あいい)れない動機の板挟みとなるとき悩みが生じることがある。次の動機の対立**ア**～**エ**と，具体例**A**～**D**との組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

ア　自立　対　依存
イ　親密　対　孤独
ウ　協力　対　競争
エ　衝動的表出　対　道徳的基準

A　親友の身の上話を聞いているうちについ感情的になり，途中で席を立ってしまったが，終わりまで冷静に聞く必要があったと後から考え，悩む。
B　昼休みに友人の話の輪に加わり仲良くしたいと思うが，一人で好きな本を読みながらリラックスしたいとも思い，悩む。
C　難しい数学の問題が宿題に出て，独力で解くのが望ましいとは思うが，勉強ができる友人に答えを聞く方が簡単であると思い，悩む。
D　テストの直前に，自分が苦労してまとめたノートを見せてくれとライバル関係にある友人に頼まれて，断ろうかどうかを考え，悩む。

① ア－C　イ－A　ウ－D　エ－B
② ア－B　イ－A　ウ－D　エ－C
③ ア－D　イ－B　ウ－C　エ－A
④ ア－C　イ－B　ウ－D　エ－A

〈***Note***〉

第１講　現代の諸課題（2009 年度５）

（解答番号 31 ～ 37 ）

第５問　次の文章を読み，下の問い（問１～７）に答えよ。（配点　20）

正しい行為とは何か。この問いは，誰(だれ)が，どのような状況で発するのかによって，答えが変わり得る問いである。だからこそ，先哲は現代に至るまで，ⓐ誰の立場から見ても正しいと思える行為の原理やルールを発見しようとしてきた。

しかし，既存のルールが本当に正しい行為を命じているのかどうかを反省することなく，ただルールに従うことが正しいと考えられてしまったとき，悲惨な事態が生じることがある。例えば，ナチス・ドイツのファシズム体制のもとで，ユダヤ人を強制収容所に送る任務についていたアイヒマンは，第二次世界大戦後，ⓑ人道に対する罪などが問われた裁判のなかで，自分は法律に忠実に従い，自分に課せられた義務を果たしているということに疑いを抱かなかったと述べた。

大戦を経験した後，ⓒ個人を平等に尊重する社会の構成原理を見いだそうとする従来の試みのなかから，新たな傾向が現れた。それは，私たち一人ひとりが具体的な状況に目を向け，人々がⓓ現に感じている苦しみを和らげるために何ができるのかを考えようとするものである。心理学者のキャロル・ギリガンは，人と人との間にすでに存在している関係性のなかで他者を気遣うことや，他者との間に新しい関係を築こうとすることの道徳的重要性を説き，そのような倫理観をⓔケアの倫理と呼んだ。

ケアの倫理は，ⓕ家族における子どもと親といった，身近な関係のみにふさわしい倫理と考えられがちである。しかし，私たちは，そうした関係を越え，自分とは異なる状況におかれている人々の存在を想像することができる。皆が正しいと考えるルールに従っているとしても，それだけでは，他者からの必要な配慮が得られずに苦しみ続ける人がいるかもしれない。そのように問い直すことは，より広い社会のなかで様々な状況におかれた私たち一人ひとりに目を向けることの大切さを気づかせてくれる。だとすれば， A 。

問１　下線部ⓐに関連して，このようなルールを確立しようとした第二次世界大戦後の哲学者の一人にハーバーマスがいる。ハーバーマスの考え方についての説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 31

① 他者の権利を侵害しない限り，私たちの自由は平等に尊重されるべきである。ただし，自由競争によって生じる不平等については，社会において恵まれない立場にある者たちの生活を改善する限りで許される。
② 人は，互いに合意に至ることを可能にするような理性をもっている。したがって，そのような理性を対等な立場が保障されたうえで使用するならば，万人が同意することができる社会のルールを発見できる。
③ 人は，互いの自由や財産を権利として尊重するべきだというルールを理解できる理性をもっている。そして，各人の自由や財産をより確実に保障するために，合意のもとに政府を設立する。
④ 自己利益だけでなく，万人に共通する利益が第一に考えられるべきだという一般意志が存在する。そして，それを強制するルールに基づく社会を築けば，個人の権利と自由は保障される。

問２　下線部ⓑに関連して，第二次世界大戦後，国家や軍の非人道的な行為を防ごうとする努力が重ねられている。そのような国際社会の試みに関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 32

① 1990年代に地雷禁止国際キャンペーンが始まり，オタワ条約が結ばれたが，軍事大国のアメリカ合衆国やロシア連邦などは批准していない。
② 1990年代にルワンダ内戦などで犯された罪を裁くために，臨時の国際刑事裁判所が設置されたが，常設の国際刑事裁判所はまだ設置されていない。
③ 非人道的な兵器の使用を防ぐために国際社会は努力しているが，化学兵器については同意が得られず，国際条約はまだ採択されていない。
④ 東西冷戦下では，核を保有することで戦争を抑止できるとする議論が盛んであったが，現在では保有国における核兵器製造は禁止されている。

問３　下線部ⓒに関して，あらゆる人びとが平等に尊重されるための取組の例として適当でないものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **33**

① 国際連合教育科学文化機関憲章（ユネスコ憲章）は，第二次世界大戦において被災した子どもを救援することを目的とし，児童と青年が個人として生活するための十分な社会整備がなされるべきだと宣言している。

② 世界人権宣言は，第二次世界大戦後に諸国民の友好関係の発展を奨励し，世界のすべての人が，人種，皮膚の色，性，宗教などによって差別を受けることなく，生まれながらに平等であることを主張している。

③ 児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）は，子どもたちの完全で調和のとれた発達を促すために特別な保護を与える必要性を認識し，子どもへの差別を禁じ，その自由と権利を実現することを宣言している。

④ 女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約（女子差別撤廃条約）は，社会と家庭における伝統的な性別役割を変更することも，男女の完全な平等を達成するためには必要であると主張している。

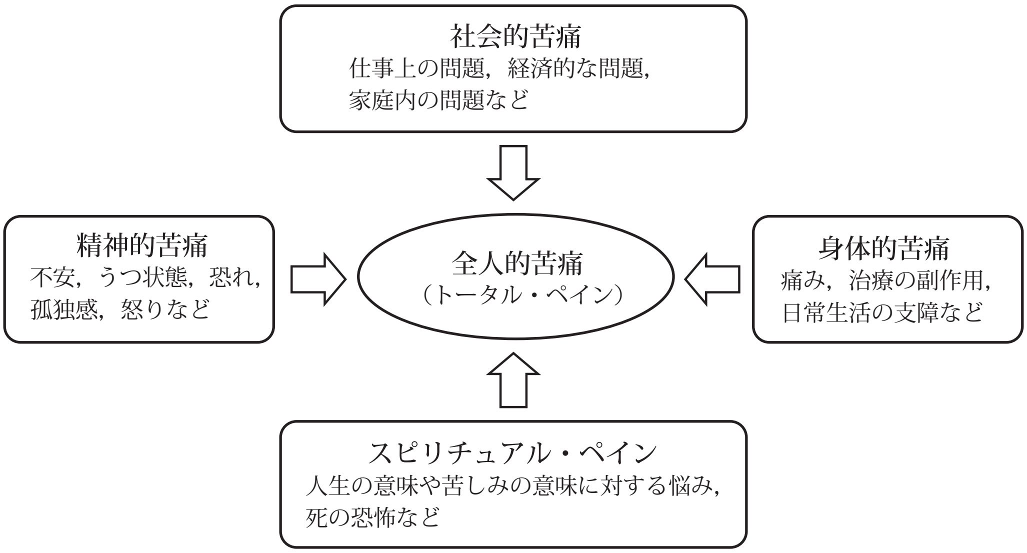
問４　下線部ⓓに関連して，世界保健機関（WHO）は，次のように緩和ケアを定義した。その定義における苦痛については，**図**のような説明が考えられる。**定義**と**図**を踏まえたうえで，緩和ケアの考え方として**適当でないもの**を，下の①～④のうちから一つ選べ。 **34**

定　義

緩和ケアとは，生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して，疾患の苦痛，身体的問題，精神的問題，社会的問題，スピリチュアルな（霊的な，魂の）問題に関して，早期からきちんとした評価を行い，それが障害とならないように予防したり，対処したりすることで，クオリティー・オブ・ライフ（生活の質，生命の質）を改善するためのアプローチである。

（世界保健機関Webページ）

図



①　緩和ケアは，末期治療に限定されるものではなく，治療の過程に生じる様々な苦痛を和らげようとするアプローチである。

②　緩和ケアが改善しようとしているクオリティー・オブ・ライフには，患者本人だけでなく，患者をとりまく家族の生活の質も含まれる。

③　緩和ケアという考え方は，患者が感じている苦痛を分類し，ケア・スタッフが，患者の身体的苦痛に集中して治療できるようにする。

④　緩和ケアという考え方は，治療の間に変化する患者のニーズにこたえるために医療従事者と患者のコミュニケーションを重視している。

問５　下線部ⓔに関して，次の文章※は，ギリガンがエイミー（11歳女）とジェイク（11歳男）の二人に行ったインタビューを分析したものである。その分析のなかで，ギリガンは，エイミーの責任感にケアの倫理が典型的に表れていると考えた。次の文章も参考にしつつ，ケアの倫理の説明として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 35

※この部分につきましては，著作権の都合上
掲載することができません。

① ケアの倫理によれば，私たちには他者との関係性が大切なので，他者に対する危害を禁止するような一般的なルールが存在する。
② ケアの倫理によれば，人は生きるためにお互いに配慮し合うべき存在であるから，積極的に他の人々を気遣わなければならない。
③ ケアの倫理によれば，私たちは自分の行為が人を傷つけることがあり得ることを認識し，他者に干渉することは避けなければならない。
④ ケアの倫理によれば，私たちが他者を頼りにするのは当然であり，そのことによって他者が傷つくかもしれないとまでは考えなくともよい。

問６　下線部ⓕに関連して，現在の日本社会における家族のあり方に関する記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 36

① ライフスタイルに関する考え方が多様化し，家族構成員同士が性別にとらわれず世話し合う傾向が高まったので，一世帯あたりの家族構成員数は増加傾向にある。

② 「人は女に生まれない。女になるのである」という言葉に表れている意識が広く浸透し反省を促したので，夫も妻と同じように家事・育児を担うようになっている。

③ 男性に比べ女性は，結婚や育児を理由に仕事を辞める者の割合が依然高いが，子が成長するにつれて，パートタイム労働者として再就業する者が多い。

④ 男女共同参画社会基本法の施行以降，女性の労働者が増加した結果，夫婦どちらかの親と同居し，親に家事などを分担してもらう傾向が高まっている。

問７　本文の趣旨を踏まえて， A に入れる記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 37

① 正しいとされている行為のルールは，私たちの身近な人間関係を問い直す機会を与えてくれ，より公平な家族関係を築く可能性をもっている。

② 正しいとされている行為のルールは，公平な社会という原理には問題があるとして，社会をより親密な関係へと作り変える可能性をもっている。

③ ケアの倫理は，私たちが現在築いている関係には問題があるとして，人と人の密接な関係を批判的に問い直す可能性をもっている。

④ ケアの倫理は，私たちが正しい行為のルールに従っているだけでは不十分であるとして，社会を批判的に問い直す可能性をもっている。

第１講　解答

青年期（2012年度１）

問１ [1] ④　問２ [2] ①　問３ [3] ③

青年期（2007年度１）

問１ [1] ①　問２ [2] ③　問３ [3] ④

現代の諸課題（2009年度５）

問１ [31] ②　問２ [32] ①　問３ [33] ①

問４ [34] ③　問５ [35] ②　問６ [36] ③

問７ [37] ④

〈***Note***〉

第１講　総まくり○×テスト

青年期

青年期とアイデンティティの確立

1　ハヴィガーストは，複数の社会集団や文化の周辺の境界線上にて，そのいずれにも属さない人をマージナル・マン〔境界人・周辺人〕と呼んだ。

2　エリクソンは，青年の自己探求のための時間を心理･社会的モラトリアムと呼んだ。

3　ルソーは『エミール』の中で青年期の精神的な自己の目覚めを「心理的離乳」とした。

4　自分が何者であるかを知り，自分自身を確信することを通過儀礼〔イニシエーション〕という。

5　青年期によくみられる，他人と比較して自分が劣っていると思い悩むことを「劣等感」という。

精神分析・自己実現・生きる意味

1　２つの相反する欲求が対立し，精神的に板挟みになることを葛藤〔コンフリクト〕という。

2　精神分析学者ユングは，『精神分析学入門』『夢判断』を著した。

3　性の衝動〔リビドー〕が蓄えられた部分で，快楽原則に支配される，とされるのはエス〔イド〕である。

4　本能的な欲求を社会的に認められた価値ある目標に向け満たす防衛機制を「合理化」という。

5　ユングは，すべての人間の心の底にある集合的無意識の普遍的な型を元型〔アーキタイプス〕と名づけた。

6　マズローは欲求の５段階説を提唱し，その最終段階を自己実現の欲求とした。

7　フロムは，歴史的に自由を獲得してきた人間が，束縛からの自由がもたらす孤独や不安に耐えきれずナチスの全体主義に吸収される心理を『自由からの逃走』に著した。

8　クレッチマーは，人間の性格を外向型と内向型の２類型に分けた。

9　学校に行かず，仕事もせず，職業訓練もしていない人をニート〔NEET〕といい，この言葉はイギリスで最初に使われた。

10　フランクルは，アウシュヴィッツ収容所での体験をもとに『夜と霧』を著した。

11　オランダの歴史家ホイジンガは，遊びが文化をつくりだすとし，人間を「ホモ・ルーデンス〔遊戯人〕」と定義づけた。

現代の諸課題

生命倫理

1　山中伸弥教授らの京大研究チームが，世界で初めてiPS細胞〔人工多能性幹細胞〕のマウス実験に成功した。

2　自分の死のあり方について，生前にあらかじめ意思を表明しておくことを「インフォームド・コンセント」という。

3　1997年に臓器移植法が制定されたが移植が進まないため，などの理由で2006年に改正され，生前の本人の意思が不明でも，家族の同意があれば移植が可能となった。

4　本人の生前の意思にもとづいて，治療の見込みのない末期患者に対し延命措置をやめ，自然な死を迎えさせることを尊厳死（＝消極的安楽死）という。

環境倫理

1　一定地域に住む生物群とそれを取り巻く無機的な環境とがつくりだす関係の総体的なシステムを生態系〔エコシステム〕という。

2　1962年，アメリカのレイチェル=カーソンは『沈黙の春』を出版し，生態系の破壊を警告した。

3　アメリカの経済学者ボールディングらが提唱し，1960年代に一般化した言葉が「かけがえのない地球」である。

4　1972年，スウェーデンのストックホルムで国連人間環境会議〔地球サミット〕が開催された。

地域社会と家族

1　一組の夫婦と未婚の子，または一組の夫婦のみの家族を核家族という。

2　現在の日本は「超高齢社会」である。

3　すべての人が社会で生きていけるよう，環境を整備し共生することをバリアフリーという。

4　国連女子差別撤廃条約の批准をうけ，男女共同参画社会基本法が1985年に制定された。

5　自己の意志で自発的に，報酬・見返りを求めず行う活動をボランティア〔社会参加〕という。

情報社会

1　大量のメッセージを不特定多数の人々に伝達する情報媒体を，マス・メディアという。

2　社会の情報化により発生した，関連機器やサービスを利用する能力の格差を，デジタル・デバイドという。

国際化と多文化共生・人類の福祉

1　先進国政府による発展途上国への経済開発のための援助をOECDという。

2　自民族の文化や価値観のみを正統と考え，多民族の文化に対し否定的・抑圧的・敵対的な態度をとる思想傾向を，文化相対主義という。

3　発想や行動が型にはまっていて独創性がないことを，ステレオタイプという。

4　サイードは，西洋人の無知や誤解にもとづく一面的な中東・東洋への理解をオリエンタリズムと呼び，批判した。

5　アマーティア＝センは，人間の潜在能力〔ケイパビリティ〕の開発と発展を説き，1998年にアジア人初のノーベル平和賞を受賞した。

第１講　○×テスト　解答

青年期とアイデンティティの確立

1　×（ハヴィガースト→レヴィン）　2　○

3　×（心理的離乳→第二の誕生）

4　×（通過儀礼〔イニシエーション〕→自我同一性〔アイデンティティ〕）

5　○

精神分析・自己実現・生きる意味

1　○　2　×（ユング→フロイト）　3　○　4　×（合理化→昇華）

5　○　6　○　7　○　8　×（クレッチマー→ユング）　9　○

10　○　11　○

生命倫理

1　○　2　×（インフォームド・コンセント→リヴィング・ウィル）

3　○　4　○

環境倫理

1　○　2　○　3　×（かけがえのない地球→宇宙船地球号）

4　×（スウェーデンのストックホルム→ブラジルのリオデジャネイロ）

地域社会と家族

1　○　2　○　3　×（バリアフリー→ノーマライゼーション）

4　×（男女共同参画社会基本法→男女雇用機会均等法）　5　○

情報社会

1　○　2　○

国際化と多文化共生・人類の福祉

1　×（OECD→ODA）

2　×（文化相対主義→自文化中心主義〔自民族中心主義･エスノセントリズム〕）

3　○　4　○　5　×（ノーベル平和賞→ノーベル経済学賞）